

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法  
科目コード:120317

## 在宅看護学概論 Introduction to Home Care Nursing

担当教員	桜井志保美、山路朋子、牛村春奈										
実務経験											
開講年次	2年次後期	単位数	1			授業形態	講義				
必修・選択	必修	時間数	15								
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)		(3)	○	(4)	◎	(5)		(6)
Keywords	在宅看護の概念、在宅の対象理解、訪問看護、社会資源、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム										
学習目的・目標	<b>【目的】</b> 在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴、及び在宅看護の役割と課題を説明することができる。 <b>【目標】</b> 1. 在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念について理解する。 2. 在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴について理解する。 3. 在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について理解する。										
授業計画・内容											
回	内容										
1	在宅看護が必要とされる社会的な背景、在宅看護の目的と特徴										
2	在宅看護の対象										
3	在宅看護の活躍の場と看護活動										
4	地域包括ケアシステム										
5	在宅ケアを支える法・制度・社会資源										
6	訪問看護制度										
7	訪問看護の展開										
8	在宅看護における倫理的課題と対応										
教科書	河原加代子他:系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤、医学書院										
参考図書等											
評価指標	課題レポート・授業態度25%、定期試験75%										
関連科目	看護の基本の科目、社会福祉論、保健医療福祉論、生命倫理										
教員から学生へのメッセージ	地域で生活する人と家族を対象に予防から療養支援・看取りまでの生活を看護の立場で支援します。家庭で療養生活を送っている人々や障害児者、そして高齢者の生活の質を追求する上で、看護職の役割は重要であり、そのために責任や期待も大きいといえます。よりよい在宅生活への支援とは何か、共に考え、学びましょう。										